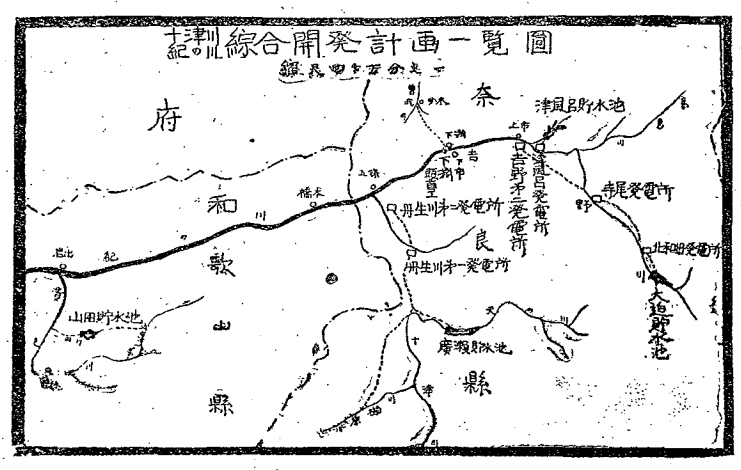
基本計畫は成つたが 前途の困難を豫想

十津川・紀ノ川綜合開發計畫

十津川、紀の川綜合開發計畫は、前述の紀和兩平野の現状から、吉野川並に紀伊平野の現状を、十津川兩河川を綜合的に開發する事によつて、紀和兩平野の旱害を永久に防止すると共に、紀の川大和川筋の上水、工業用水を確保し、併せて水源地帶に於て電源開發をもなさんとするものである。

補給水量貯水地計畫定まる

昭和二十二年七月下旬、本縣では吉野川分水問題が十津川、紀の川綜合開發事業として再燃した事を知るや、早速縣會に紀の川及び熊野川治水對策委員會を結成し、取り敢えず關係當局に反對陳情を為し、八月二十五日には、異例の臨時縣會が開かれて紀の川並に熊野川分水計畫反對決議をなし紀伊平野の現状を縣獨自から恒久的の計畫を樹てる事に決定した。爾來縣では紀の川、熊野川沿岸の農業水利調査を續行し、一方紀の川、熊野川の管内は勿論、上流地帶、大和平野の既往の計畫に基づく現地調査を滿二ケ年余に亘り、討議された十津川紀ノ川綜合開發計畫も、關係當局及び兩縣の努力により、基本計畫成り愈々來年度より資施する運びとなつたが、前號に引續いて其の經緯を述べ、縣民各位の御協力をお願いする次第である。



要概の號前

紀の川綜合開發計畫がはいり、農林省が調査を擔當し、かん漑用水にあるので、計畫の萬全と民主的運營を期する爲十津川、紀の川綜合開發調査協議會がつくられた。

奈良、和歌山兩縣は吉野川の利水をめぐつて昔から對立してきた。これは大和平野が大和川の水源が乏しい爲年々旱害を繰返し、結局吉野川水系より導水する外なき結論に對し本縣では紀伊平野の水源たる紀の川の減水し所用水量に滿たぬ事があるので吉野川分水は紀の川沿岸の死命を制するもので、昭和二十二年經濟安定本部に對し中止を發電、かん漑、沿岸工業用水、上水等の諸目的に開發計畫を見地から綜合的に開發計畫の第一義目的とすることになりその一つに十津川

とつ國へ行く紀州蜜柑

溫州蜜柑の輸出 本年度計畫成る

昭和二十四年度カナダ向溫州蜜柑輸出はカナダ政府の買入價格制限のため行悩みの狀態であつたが、一箱當（一貫二〇〇匁詰）五五セントに決定し、日本果實販賣農業協同組合とカナダマンダリンオンジコンパニーとの間に七五萬節の取引契約が成立し、本縣果樹農業協同組合に對し二五萬箱の割當があり、縣下の各産地に對しては次の如く割當を行い、各郡とも外貨獲得に張切つて居る。

伊都郡	九四、〇〇〇箱
那賀郡	一六六、〇〇〇〃
海草郡	七二、五〇〇〇〃
有田郡	六七、〇〇〇〃
合計	四〇〇、〇〇〇〃

昨年度は一箱四〇セントデ四二〇圓レートで一六八圓であり、本年度は五五セントで三六〇圓レートデあるから一九八圓となり昨年よりは好條件である。

尚神戸港出港は十一月一一日、一六日、二〇日、二七日の豫定である。

編改機構の縣民事部 ドーティー中佐からの挨拶 和歌山民事部長

府縣民事部の機構改編により和歌山民事部（七月一日以前軍政府）は本年十一月三十日限り廢止されその任務と責任を近畿民事管區に移管されるが豫定期日以前に副官部以外の各課は十一月一日を以て閉鎖する通知に接しているこのことにつき小野和歌山縣知事宛當民事部長ドーティー中佐から在任間の民事遂行の協力に對し感謝の言葉があり縣民各位によろしくと別紙の通り鄭重な挨拶があつたので茲にお傳えする。

拜啓

私は此の機會に於て和歌山民事部の在縣中各位の深甚なる御協力に對し職員一同を代表し厚く感謝の意を表します。

各位の協力は私共の使命を果す上に多大の困難を輕減し愉快に執務する事を得せしめられました。

私共は深く和歌山と縣民の友情を嬉しく思つて居りますので今去り行く事を誠に殘念に思う次第でありますが和歌山民事部の機能は十一月一日を以て大概、終止して近畿民事管區に移管されるのであります。

私共は今後共各位が經濟復興と世界恒久平和の爲奮勵努力せられ以て個人の權利を保護し眞の民主國家を自らの爲に確保せらるべきを信じます。

今各位と袂別するのの已むを得ざるを殘念に存じますが、私共は永久に各位を忘れる事はありませぬ。敬具

昭和二十四年十月二十六日

和歌山民事部長
陸軍中佐
ハロルド・ジー・ドーティー

和歌山縣知事小野眞次殿

基本利水方式、事業實施要項定まる

この會議に於ては二十四年度綜合開發事業として豫算化が要望され、奈良縣の如きは擧縣猛運動をした樣だが實現しなかつた。又調査に當つた農林省では折角水源地迄諒解の出來た本計畫をこの儘に捨て置き難く、本縣の運動と相待つて山田川貯水池工事を縣營貴志川沿岸農業水利改良事業として着工せしむる事とした。奈良縣に於てもこの問題を主管する土木部は、綜合開發調査以前より十津川河水統制の調査を實施しておつた關係上、綜合開發計畫の一環と稱して、建設省の援助により河水統制事業として十津川を開發し、流域變更による河水を吉野川と關係なく、立体交叉により大和平野に送水せんと計畫し本縣に再三諒解を求めに來縣し、七月二日には建設省に河川法に基く手續もとつたのであるが、本縣は奈良縣の計畫が綜合開發計畫を根本から打ち壞すものであり、吉野川筋の開發に對する熱意を缺くものとして反對し、至急協議會の開催を提案したのである。

依つて十月二十日京都に於て第五回小委員會が開かれ、會議に於ては本縣側より將來に亘つて本事業計畫を前會議以降の如く昏迷にしない樣、綜合開發計畫並に協議會の性格を明確に且つ權威あらしめ、次いで分水計畫に移り、基本利水方式として吉野川筋大迫、津風呂の貯水量は、下淵頭首工に依り兩縣が分水し、十津川流域變更による水量は本縣が專用する事に決定した。續いて事業實施の要領について長時間に亘り審議し、本縣は最後迄縣の方針を堅持して譲らず、遂に議案を大きく變更して、豫算並に生産効果に關係なく、山田貯水池を第一に、廣瀬貯水池を含む十津川流域變更並に津風呂貯水池を第二に、大迫貯水池を第三に、前三者の工事の進行狀況によつて兩縣協議諒解の上、大和平野へ分水する下淵頭首工及び隧道工事を着工すると云う條件を付けて、實施順序を決定した。

今後は實施の協議會

以上の如くして綜合開發基本計畫が完結したので、今後は調査協議會を開散して兩縣を主体とする十津川、紀の川綜合開發協議會（假稱）をつくり、十津川、吉野川本流の開發も二十五年度より實施出來る樣、政府、兩縣共に努力する事となつた。

昭和二十二年來滿二ケ年余に亘つて討議された十津川、紀の川綜合開發計畫も、關係當局並に兩縣の努力によつて實施の段階に進んだのであるが、前途には幾多の困難な問題があり、これが解決せぬ限り實施出來ぬ事であり、縣を擧げて推進して頂く事を切望する次第である。（完）

（川口土地改良課長）

必勝の氣を眉宇に 國体選手の壯行會

第四會國体秋季大會へ出場の本縣代表選出二百五十名中先發五十名は二十八日、後續二〇〇名も引續いて二十九日夫々縣廳玄關にて壯行會を擧行、小野知事よりの祝辭などもあつて、選手一月の必勝の氣概も強く壯途についた。

五日間に亘る本縣代表選のあたりで國民の前に安全な歩道を指導してくれる思想界の親切なお巡りさんが出ないものか。▲四等國民だナンテ悪口を聞きたくなければ此の際歩道訓練から始めても良いのでないか。（M）

▲車は左人は右。今日から街頭交通の体制が一變される。▲永年左側ばかり歩き馴れた吾々だ。當分餘程氣を付けぬとウツカリ間違えて叱られぬとも限らぬ。▲だがこれまでチヤンと左側を守つて來た位の者なら、たとい左か右に變ろうが出鱈目な歩き方はしないにきまつている。▲厄介なのは是迄から左も右も一向お構いなしに無茶苦茶に歩き廻る無軌道だ。▲文化の深淺は社會生活訓練の程度で分ると言われる。▲日本人も今日からの改正を契機として一つ水際立つた文化國民的態度を連合軍將兵のお目にかけてはどうか。▲思想の面で見ると從前はイヤオウ無しに軍國主義の鞭に追われて、右側も右側、まるで小溝に落つこちそうな處を歩かされて來た日本人だつた。▲それが一旦終戰の台風に遭うや、あわてふためき自由主義の赤がかつた上つ張りを引つかけて、ソレ左だマツト左だとガヤ〳〵まごついているのが今日の現狀。▲中には又候右側の溝際によろけかゝつている者も無いではない。▲こ

和歌山縣
山田川貯水池
工事
紀の川
十津川
大迫貯水池
廣瀬貯水池
津風呂貯水池
寺尾發電所
北和田發電所
追貯水池
山田貯水池
十津川
紀の川
吉野川
大和平野
紀伊平野
熊野川
貴志川
奈良縣
和歌山縣
吉野郡
十津川村
上流地帶
熊野川
紀の川
熊野川
紀の川
熊野川
紀の川

斯くして本縣文化を昂揚せん

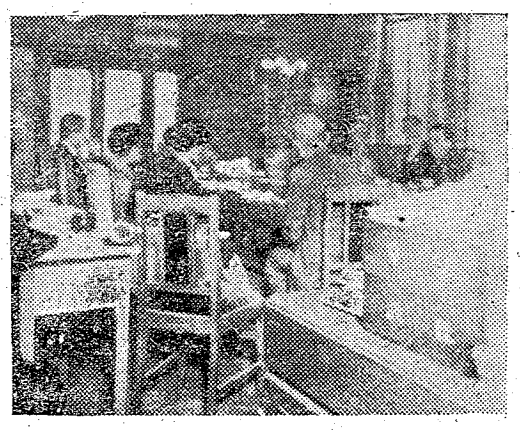
十一月三日の第二回「文化の日」を迎えるに當り、本紙では別掲名士の方々を招いて、「文化について語る」座談會を開催し、縣民の文化に對する關心を深め、文化日本再建の一助に資することにした（寫眞は會場）

先ず民主主義の究明から

▲司會（森秘書課長）思出深い菊花節の十一月三日を、自由と平和の「文化の日」として丁度一年、こゝに第二回の日を迎えますが、眞にこの趣旨を日常生活に溶け込ます爲には、まだ相當の日子を必要とすると思います。本日は地方名士の皆さん方に集つて戴いて、文化の日の趣旨などにつき、縣民に理解滲透せしむるには、どうしたらよいか等、ザツクバランにお教え願いたいと思います。

▲原田氏　文化語るには先ず民主主義の本義を知らねばならない、故に民主主義の究明が先決問題である、凡そデモクラシーとは**大多數の最大幸福**を意味するものである。この爲には己の言行に責任を持つことが第一で之が取りもなおさず文化向上に資する所故である。この事を日本國民すべてが再認識すべきである、

▲岩崎氏　民主主義は政治組織や社會制度に關係のあることで、これはその關係者がやつて呉れゝばよい、この民主主義に伴うものに自由主義がありこれが問題だ、自由な思想を持ち得るということを放縱とはき違えて、秩序を乱し、爲に社會が困乱に陥つて了う、若い人達に特に重要なことだが社會生活をする以上皆が自我を、必要に應じて殺して行かねばならず、かくてこそ社會生活の意義が存するのである、第一社會とは夫々の部所を最善に生かし、而も全体の立場を忘れないことが大切である。最近の社會狀勢を見るに皆が自分の立場に余りにも拘泥し過ぎている。唯今原田さんが文化のことは後の問題だと言われたが、文化の解決が先決問題である。文化に對する社會人の意識が極めて低調で、外國の新しいものを取り入れることを文化と誤信している。私の意見としては文化とは自然に對するものである。即ち自然は未開發で人力により基盤を作り遂げるものである。未開人は自然のまゝでこれは文化ではない。然し時の進むにつれて自然に人力を加え、文化面が擴大して來る、之が極端に進むと人間が機械のようになつて了う。



眞の文化は自然と結びついていなければならなぬ

▲村上氏　來る十一月三日の文化の日を考えるとこのには歴史的傳統がある。それを認識すると同時に一方吾々は縣民のもつている未然なものから育てたいその過去の歴史的な傳統と結びつきながら反省と批判とをもつて進まねばならない、一部人士の獨占物とか一部人士の獨占物でなく民衆と共にあるものであるべきものである。

▲司會者　本縣では今日の言われたようにそれが未だついたりして來て

文化の物まねはやめたい

▲高柳氏　これは生活に必要な較するとよい。佛は戰後の日佛を比後の物質的な混乱にも抱らず慘めにならなかつた。即ちフランスは文化を持つている。文化と文立派なたのである。憲法は文化の滲透性に欠くべからざるものである。故比類のない憲法を身につけねばならない、從來の物眞似的文化を打破することに我々の使命がある。

▲原田氏　岩崎氏は私の言つた事を誤解されている、國民は民主主義が分つていない、民主主義を政治家のものと考えているようだが、そうではなく私達が政治經濟していくのだと思う。

▲岩崎氏　民主主義とは一つの枠である、枠の技術に對するど同じである。日本が有するのは技術的なもので科學ではない。即ち眞の文化を有していなかつたと言えるのだ。この證據を戰後の日佛に比較するとよい。佛は戰後の物質的な混乱にも抱らず慘めにならなかつた。即ちフランスは文化を持つている。憲法は文化の滲透性に欠くべからざるものである。故比類のない憲法を身につけねばならない、從來の物眞似的文化を打破することに我々の使命がある。

▲原田氏　岩崎氏は私の言つた事を誤解されている、國民は民主主義を政治家のものと考えているようだが、そうではなく私達が政治經濟していくのだと思う。

▲岩崎氏　民主主義とは一つの枠である、枠を規定するのが政治定であつて國民はこれを守らねばならぬ、民主主義とはその枠で中味が必要だ、この中味に國民が作るのである。自由主義もその中味だ。他の眞似などして いるのは要するに中味がないからである。

一、開催日時　十月二十七日（木曜日）　后二時
一、全場所　和歌山縣廳知事室
一、語り合う人　順不同
朝日新聞社和歌山支局長　高柳　章氏
毎日新聞社和歌山支局長　原田　仁氏
和歌山大學學藝學部長　岩崎　眞澄氏
大阪中央放送局和歌山支局長　南波　泰夫氏
みどり藝術學園々長　石黒つぎ子氏
縣教育委員會有田分局教育指導主事　檜尾　貞子氏
和歌山縣教育委員會教育長　村上　五郎氏
主催者側
和歌山縣知事　小野眞次氏
秘書課長　森　慶三氏

▲原田氏　手取り早くいつて民主主義を身につけねばならぬ。つぎに來るべきものが文化だ。

▲高柳氏　話は飛躍するが、佛がオリジナルな根本的な又傳統的な文化を有していた事のいゝ話にこんな事があつた即ち共産黨のトレーズが歸國の際迎える佛國民はインターナシヨナルで始めたが、何時の間にかラ・マルセイユの國歌と變り而もトレーズがそのタクトを取つていたという、日本に於てはどうか、佛教にしろ、キリスト教にしろ余りにも無條件に取り入れているのではあるまいか、

▲村上氏　民主的な歌がないからではあるまいか。一方ではフオークダンスと一方では盆踊りがある。

批判性がない

▲石黒氏　批判性がなかつたのが文化の進歩を妨げたのである。殊に日本婦人が自分の意見をもまたないことが致命傷で余りにも自我の殻を被つていて社會的なものに興味を持たない、婦人の多くは新憲法を理解しておらず、したがつて文化に對する目覺めも千鳥足である、この惡世想に

文化運動の現狀

司會者　いろ〳〵有益なお話を承りましたが、この邊で文化運動の現狀に對して指導的なお話を御教え願いたい、

▲高柳氏　現在學生の思想傾向はどうですか

▲岩崎氏　若い人はマルクス主義が多い、これは彼等に批判的なものがなく反面を見ないのである。批判が必要だ。ところが**日本人は「批判」即「理窟」と考えるこゝの所が**むつかしい。

▲原田氏　新聞についての話だが或る青年が「赤旗」が一番よく自由の新聞は赤旗だけだといつている。

▲南波氏　戰後の若人は斗爭のあるところへ走り勝だ。

▲原田氏　流れについてゆかないと時代におくれると思うのだ。溯れさしてよいかどうか。

▲高柳氏　戰時中の自由主義者と非國民が戰後は戰犯者と反動者となつている。

▲原田氏　かつての翼壯が現在共産黨だから、全く單純で批判力がない、

▲岩崎氏　シベリアからの引揚をみてもその通り、結局**教養**の問題であつて人間のよいところを培つてゆくことが教養だ。

▲村上氏　新しい事をするのが教養と思つている。

▲高柳氏　この点封建性の中味の詮索批判が必要だ。現在の學生は古典なんか讀まない、どつちもつかずの教養であつて家庭獨善の中から目覺めたいものだ、

▲南波氏　批判性のないのは婦人だけではない、文化人と稱する中にも澤山いる、

▲高柳氏　婦人開放の尺度は社會文化の尺度を示すものだ。

▲村上氏　同感である

▲岩崎氏　奈良平安朝時代のものもよく日本的なものゝ復興も大事だが世界的視野から見ると民族主義も考え物だ。古典はよい。

▲村上氏　廣く世界のよいものを取り入れねばならぬ。

▲村上氏　民衆の中にもよいものがある、之を生かしたい。

▲司會者　のど自慢や芝居など田舍の文化活動をどう指導するか

▲高柳氏　青年團などは余りにも趣味的であり。中心がない。多少讀書會なども行なわれているが。

▲南波氏　現在行われているのど自慢は程度が低いと批判を浴びているが、之を始めたのは敗戰のみじめさを和やかにするのが目的であつた。既に四年後の今日この指導は音樂的分野に入つて來た。私は之をうんと續けたい

▲檜尾氏　農村の文化は實生活に卽したものから入るのがよいと思う。例えば食生活の改良などの面に眼を向けて行きたい。本當の文化國家とは如何に避地へ行つてもまとまつた組織をもち創造的な生活をするのでなければならぬ、

▲岩崎氏　現實的に卽したものをもつて來て一段高い所から引張つて行くことである

▲村上氏　その技術が必要である、この点各文化に關係されている方々の協力が必要である。

▲南波氏　ラジオに於ても審査に非常な責任があり、指導的なものでなければならぬ。

▲岩崎氏　縣の文化指導機關にどんなものがあるか

▲村上氏　別に今のところは……

▲司會者　青年指導はいかゞでしようか

▲南波氏　グループを所々に作つて批判し合うのがよい。成人講座では講師が話しすぎる、次ぎにディスカツションやつても誰も發言しない。第一回に出席し しばらく休んで第五回目に出席した人があれば、後れたことがはつきりわかる。批判し合う機會を持つ事が大事だ。會食など共にするのもよい。何時から集り誰の放送があるから集りましようというふうに。

▲石黒氏　西洋には週に一日集合日がある、集つていろ〳〵話合う方式がよい、

▲岩崎氏　日本婦人にはその暇がない、疲れてしまう。

▲村上氏　それはむつかしい

▲南波氏　つくれば暇がありますよ

▲石黒氏　男の方が婦人の仕事を分担してくれるとよい

▲司會者　もつとお話を伺いたいが、時間も相當經過しましたので これで終らせて頂きます。有益なお話を聽かせて頂いて有難うございました。

文化の日
株式會社　原庄組
五町加納町　和歌山市
營業所
電話（和歌山）1737・2463
本店　海草郡加太町　原浩

文化の日（11月3日）

和歌山港灣倉庫株式會社
取締役社長　高山宜久
和歌山市傳法橋南之町一番地
電話二〇〇二番（社長專用）二〇四九番（事務用）

荒物　金物
實森由太郎
和歌山縣海南市船尾一七九

南海油脂株式會社
海南市藤白七五八番地
電話（海南局）四六三番

大阪窯業セメント縣下特約店
上山商店
和歌山縣海南市鳥居二〇九番地
電話四二四番

和歌山縣漆器商工業協同組合
理事長　隅田修二
海南山船尾二二二番地

有限會社　紀和製綱所
代表取締役　森本新一郎
海南市大野中五〇六番地

笠野染工株式會社
取締役社長　笠野清
海南市名高一二三番地

昭和石油株式會社
海南製油所
所長　秋田登一郎
和歌山縣海南市藤白七五八番地
電四一九・六七九番

農林省指定漁業資材製造販賣登錄店
棕梱類製品製造直賣
紀伊物産株式會社
和歌山縣海南市船尾荒濱通二七六
電話四〇二番（夜間）六四八番

海南木材株式會社
取締役社長　村田精宏
專務取締役　岡本秀夫
海南市名高四七三
電話（海南）三二三・三六四番

日東紡績海南工場
工場長　吉岡榮
海南市名高八番地
電話（海南）一五五番

フジシロ　燒酎
中野釀造工場
海南市藤白（電二〇七番）

土木・建築・設計施工
新興建設株式會社
取締役社長　船津義雄
專務取締役　平田力
海南市船尾三六五

復興めざましき和歌山縣の柑橘業

變貌甚だし柑橘地帶

蜜柑に心ある往年の旅客が再び紀州路を訪れ、特にそれが麥秋の季節であるなれば、麻生津、龍門を中心とする紀の川沿線、加茂郷下津、箕島、宮原等を中心とする紀西線添い一帶の變貌に驚嘆の目を瞠るであろう。それは蜜柑一色に集團せる大産地の景觀は夢の如くに消え失せて、其處には熟麥の黄錦と散在する柑橘園の緑とが不規則に交錯點綴して、繪筆には宜き情景ともなれど、これが戰禍のために凋落せる柑橘業の現實の姿と知れば恐るべき戰慄と涙なしには見られぬであろう。

「紀州の蜜柑か、蜜柑の紀州か」と謳われた此の大産地は一朝一夕にして發達したものではない。古くより本郡第一の人口密集地帶である京阪神の大都市に近接する關係上、高度の經濟生活を余儀なくされた吾々の祖先が、此の狹い耕地を利用して生活を切りぬけるために撓ゆまぬ努力が續けられて來た誇るべき傳統を持つて居る。即ち傾斜の強い山々の山腹も最初は雜木林であつたが、蠟の需要高まるに從い櫨の栽培を始め、在來種櫨が葡萄櫨、黄櫨と新導入品種に變り、遂にこれが時代と共と蜜柑に移り柑子より紀州小蜜柑、八代蜜柑、池田溫州、改良溫州と三百數拾年の間休止することなく進展して來た柑橘業であつたが、僅々數年前より誤れる戰のために國を擧げての主食生産第一主義に基き「蜜柑は木の實じや、木の實は猿の好物じや、猿の好物は八絃一字の盟主食糧として當分御用はない」という次第で涙を呑んで伐採整理の難を被つたのである。恐るべきは戰禍である。

蜜柑王國の名に恥じぬ復興調

平和の再來は柑橘栽培家にとりて將に春陽來復の態である。蜜柑に生れ蜜柑に生き蜜柑に死した祖先の血の流れるはらからである。この絶好のチャンスを腕拱ぬいて芒然と見て居る筈がない。野に充つる往年の「蜜柑の紀州」再現の熱意と、これに答えて布かれた善政と相結んで急速に展開しつゝある復興調を擧げて見よう。

先ず柑橘園の面積に就て見ると戰前最高九、三三五町歩であつたのが、昨年九月一日現在の實態請査によると四、八五八町歩となつて居り四三パーセントの激減で全國第一の減反であると共に全國果樹産地中食糧增産に最も協力したところといえよう。

品種別に見るとネーブル、金柑、雜柑は各八割減、三寶柑は六割減、夏柑は四割減となり、溫州は四割減としてはは全面積に對し溫州八割、夏柑一割二、雜柑は僅に二歩となり、重要品種溫州、夏柑を主とし雜柑は殆ど整理されたことになり、好ましからざる伐採整理の結果は老樹と不良品種を淘汰し、從來本縣の癌とされて居た点を一掃して清新な新産地の觀を呈するに至つたことは不幸中の幸といわねばならぬ。

而して減反面積の補足については昨年度より柑橘復興五ケ年計畫の事業として轉換せるものを優先的に三、五〇〇町歩を果樹園に復元すべく昨年度一〇〇〇町歩、本年度五〇〇〇町歩の割當を行つたのであるが、今後事情の許す限り復元割當にピッチを上げることになつて居る。

復興用の優良苗木の育成について縣は優良母樹二、〇〇〇本を指定し、また優良系統の再生母樹園を一町歩設置し、和歌山縣果橘苗木協同組合と連絡し、一七町歩の苗圃を設け本年度に於て四〇萬本明年度に於て七〇萬本の苗本を育成し、漸次縣内産苗木を以て自給の計畫である。

本年度生産二、二〇〇万貫

次に生産面より見ると戰前最高は三千萬貫であつたが、生産資材の逼迫と勞力不足の爲甚しく低下し、鐵道輸送の實績より見ると最低昭和二十二年度の六七五萬貫まで下つたのであるが、栽培家の努力に依つて急速に復興調を示し、二十三年度には一、三五〇萬貫、二十四年度に於ては二、〇〇〇萬貫の輸送計畫を樹立して居るのであるが實際生産量は縣内消費約二〇〇萬貫を加えたものとなる。

即ち面積に於て戰前の六割で、收量に於て六割六まで復歸して居るのであるが、地域的に見ると有田、海草の産地に比して伊都、那賀の復興が著しく遲れて居ることになつて居るので今後の努力により戰前の生産高に匹適するところまでゆけるのではなかろうか。

次に販賣面より見ると生産者自体の團体による共同出荷が極めて少く今後に期待するところが多い。公同出荷せるものは全部で約一五〇萬貫で全生産の約一割である。

販路に於ては東京市場が比較的少く、十、十一、十二月の本縣の出荷最盛期に於ても東京市場では愛媛、靜岡、度島、和歌山の順になり本縣の出荷量は愛媛縣の三分の一に過ぎぬ狀態であるが、往年の江戸は吾等の大先輩紀の國屋文左の開拓した販賣基地であるから今後、量と質と販賣組織の改善に依り大いに活躍を要するところである。

縣では十月一日より神田旅籠町三ノ八に青果物を主とする物産販賣斡旋所を開設して販賣改善に專念して居るのであるが、今後縣下の産地と密接な提携のもとに漸次機構も擴充して貢献したい念願で進んで居る。

海を渡る紀州蜜柑

次に溫州蜜柑の輸出面の開發に就ては本縣の最も力を注いでゆくべきところであるが、戰後に二十二年度に北米カナダに向四萬箱の初輸出を行い、二十三年度に於ては一三萬六千箱、本年度は四〇萬箱で全國九〇萬箱中靜岡の三〇萬箱を凌駕して第一位を占むるに至つたのである。十一月に全部神戸港にて船載することになつて居るが、此の計畫は縣下柑橘業者の面目にかけても慣徹すべきである。

加工生産に拍車

次に加工面に於ては輸出用の蜜柑罐詰と自給自足のジュースであるが、輸出用蜜柑罐詰は二十二年度に於て一封度四打入二、〇〇〇箱、二十三年度は八、〇〇〇箱、二十四年度は一二、〇〇〇箱の計畫になつて居る。縣内に三工場あるが、戰前に於ては全國十一番目の生産縣であつたのであるが、此の方面の展開には格段の拍車をかくべきである。

（以下次號）

本縣は栽培の歴史が古いから、新興産地の他縣に比べて種類が多くミカン園は種類の見本市の觀がある。これは決して自慢すべき現象でなく新興産地の樣に優秀な種類に統一する必要がある。出荷の面から考えても同種類の荷が相當數まとまらねば、市場で大變な不利を蒙るものである。本縣がミカンの老大國と呼ばれる大きな理由の一つが、種類が無暗と多いという点である。今迄本縣に奬勵品種というものがなかつたが、幸い最近奬勵品種が決定されたのでその線に沿い、民間團体と協力して縣下の種類を早急に統一し、面目を一新したいと考えて居る。

以下簡單に奬勵品種を紹介して參考に供したい。

尾張溫州　和歌山二十六号

本縣が産んだ一代の豪商紀の國屋文左ヱ門が荒浪を越えて、海路江戸に送つたミカンは今日の溫州密柑とは全々別種のものであつて、今日の紀州密柑である。紀州密柑より溫州密柑の方が、品質の点でも收量の点でも優れていたので紀州密柑が驅逐されたのでめる。溫州密柑の内でも尾張系溫州が品質が良いのであるが、その尾張系溫州の内でも前に當試驗場で選拔した和歌山二十六號が、樹勢や品質が良いので今回奬勵品種に選ばれたのである。

本縣のミカンの種類

和歌山縣有田郡田殿村　果樹園藝試驗場　平林俊一

早生川早生溫州宮

御承知の樣に早苗溫州は普通溫州の核變りから來た系統で冬の寒さに強いから紀北地方に多く作られているが、中でも宮川早生は色々の点から優れている。

夏橙

本縣では日高郡が一番多く、まとまつて作られている。夏橙の前途について、人により見方が區々であるが出荷の時期的の強みと、將來加工業が發達すると夏橙はペクチンの含量が多いので、マーマレード原料として最も適當であつて將來性は充分あるものと思われる。

三寶柑　本縣の三寶柑の適地は特定の場所に限られているが、品質は特別優秀で斷然他縣の追隨を許さない。果實は獨特の形をしていて、廣く親まれているのが強みである。

トロビタオレンヂ　ネーブルオレンヂは戰時中の肥料不足と、寒害風害により急激に減少したが、今日でも作り難い種類である。之に變るものとして、今回トロビタオレンヂが奬勵品種として決められた。トロビタオレンヂはネーブルとは血の濃い親類で、形がネーブルより僅かに小さいが、作り易い種類で品質もよい。

伊豫蜜柑　愛媛縣から出た密柑で、大さは夏橙級であるが品質は遙かに上等である。平地向きあり田邊市附近に適するものと思う。

福原オレンヂ　縣南部の台地に向く、初夏に出る種類である。

ポンカン　縣南部の低地向きの種類で、品質は本場の台灣産に負けない位優秀で市場で極めて有利に取引きされるが、作りにくいのが殘念である。

奬勵品種は以上の八種類であるが、一口に種類と云つてもその内に良い系統もあり、又悪い系統も混在しているものである。この内本縣の三大種類とも云うべき溫州密柑、早生溫州と夏橙について、試驗場では昨年度より三ケ年計畫で優良系統の搜索を行つている。第二年目に當る今年度中に、大体の調査を終了する積りであるが、本縣の柑橘業發展の爲に野にかくれている優良系統の發見に、縣民の皆樣方の御協力を願つて止まない。

エコー

この欄は投書欄です、縣の放送自動車に因んで名附けました、その名の示す如く縣政に對するあらゆる反響をお寄せ下さい。その聲を廣く公開して明朗縣政を確立しようではありませんか……紙上匿名隨意、

本年度の小作地に對する地租について

小作地の租税は其の收入よりも遙かに多額にて（縣税地租割は賃貸價額の三倍、町村附加税は同三倍、合して六倍となつてゐる）これでは甚だ不合理な事と思うのみならず、納税者（地主）として堪え難きことであるから地租の減額を考慮願い度い。參考として左に例をあげる。

例　價額反當三十三圓、この賃貸價額の六倍は、百九十八圓外に水費地主負擔分として約七圓五十錢合計金貳百五圓五十錢右に對する小作料一石三斗五升の石七十五圓替の計算にて金百一圓貳拾五錢收入の小作料金よりも納税金は百四圓二十五錢多額になる。

縣よりの解答

地租の賦課率引上げと小作料との關係について

地租の賦課率引上げは本年五月の地方税法改正によつて不動産重課の趣旨に則り附加税を合せて百分の五百となり本年度から實施されることゝなつたのであるが、これと關連して地代家賃との關係が現在における地代家賃は物價統制令が適用せられ嚴格な價格統制が實施されており單に地租の税率を引上げたのでは土地の所有者に過重な負擔を强制することになるので改正地方税法施行と同時に地代家賃の統制額の改訂が行われ、税分だけ改訂地代家賃の額の中に織り込まれることとなつたのである。そこで小作料との關係については現在の小作料は農地改正によつてその最高限度が定められている（昭和二十年十二月の小作料統制額を廢止するに當つて置いたのであるが、これを引上げたのは出來なければ）ので同法によるその額をそのまゝ据置いたものである。然し乍らこれにつて近く同法の改正を見て相當額引上げられたものと思われる。

一般經濟狀勢からも現在における國の政策もあつてもし限りとして如何とも難い事情もあり（勿論この矛盾については關係當局に意見具申をしている。）御了承願い度い。

文化の日（11月3日）

縣護國神社
秋の大まつり
十一月三日・四日兩日（奉納催物）
柔道大會・空手術公開・相撲大會・野球試合・ボクシング・競走・演藝大會・仁義獅子舞

縣護國神社奉讚會

顧問　田内　本坂　川西　垣石　中高　幸田　久村　安今　五前　三田　吉出　郎村　郎田　郎中　郎垣　郎本　郎川　郎西　郎坂　郎内

贊助　森田　糟谷　鹿光　五朗　荒木　田中　小林　和井　酒野　小田　和瀬　大口　玉置　山文　山喜　秋本　山平　前豹　今長　村辰　田精　田織　村善　月幸　本久　村左　田吉　中衛　井之　野一　田成　瀬吉　置一　口運　喜次　文吉　平門　豹丞　長郎　辰一　精兄　織太　善之　幸助　久宏　左進　衛一　之郎　吉一　三出　五郎　郎吉

副會長　永尾秀明
和歌山市小林原通一丁目一番地　電二四五九・二四六〇

和歌山縣森林組合連合會

支局長　田村正
和歌山市八番町二番地　電一五七五・一五七六

食糧配給公團
和歌山縣支局

副會長　中井
世話人　本部　奥村　辻田　里上　岡本　坂口　上　榮一夫
〃　〃　〃　

和歌山縣のホープ
『蜜柑罐詰』

溫州密柑は冬の寶、密柑罐詰は夏の味覺の尖端を行く。ビジネスの一日の輕い疲勞を三ツ豆に浮く黃色い密柑の一片に新涼の爽快味を覺え、明日への希望を開く「密柑罐詰」!!　我が紀州で生產せられ、海外に輸出せられて、外貨獲得の重要役割を果すと共に內需として同胞に生活のうるおいを與えたい。

この密柑罐詰は昭和元年に始めて我國で工業化せられてから遂年急速に生產量を增大し世界に飛躍的發展を遂げたのであつて、昭和十四年には生產高二百五十萬函、內輸出高は百三十萬函に達したのである。かくのごときぼう大な數量に昇つたことは、我が國は勿論、世界においても、その例を見ない實に罐詰界の革命兒である。

當時の輸出先は第一位英國で六十六万函、第二位滿洲。中國で五十三万函、第三位米國で六万函、その他オランダ、南洋方面を初めとして世界各國に亘る。十四年の英獨開戰から世界の情勢は悪化し密柑罐詰も、この年を頂点として生產量も減少し十六年の太平洋戰爭により輸出向罐詰の生產は一應終止符を打たれた譯である。將來の生產量三百万函、四百万函の夢は、はかなく破れたのである。

飜つて我が紀州は密柑栽培において、その歷史は古く、且生產量においても他の追隨をゆるさず、密柑王國の名をほしいままにしている間に十年の月日が流れ、漸く昭和十一年に紀州食品株式會社が伊都郡の一角に創設せられ續いて翌十二年に有田食品株式會社が湯淺町の山際に建設を見、越えて昭和十三年に當時の產業組合會が和歌山市に大工場の設置を完了したのである。何れも年間二万函乃至三万函を生產し、おくればせながら先進縣たる神奈川、靜岡に追從し、品質の向上に特別の努力が拂はれたのである。

本縣密柑罐詰の創設に當つては神奈川縣の四菱食品株式會社の濱口文二氏が負うところ大なるものがあつた。

昭和二十二年貿易の再開によつて密柑罐詰は再び脚光を浴びて煙突から黑々と煙を揚げ初めた。溫州密柑の樹勢恢復につれて年々生產量を增加し二千萬貫を突破するうれしき現狀に對し密柑罐詰も遂年生產量を倍加出來得るよう、努力を拂つている次第である。本年の密柑罐詰の生產計畫は縣下五工場で一萬五千函を目標とし、これに要する生密柑所要量は約十萬貫であつて、種々の隘路を打開してこれが目標額を完遂出來得る日をたのしみに盡力している次第である。（鈴木光廣）

不服申立が出來ます
（割當登錄等について不滿の方はどうぞ）
（縣よりのおしらせ）

經濟安定本部、大阪地方經濟安定局では、經濟統制について官廳に對し不滿を不服、又は調停望まれる方の相談申上を受ける。

不服申立の出來る場合は、割當を受けないこと、削減、停止割當公文書の發給に關すること、登錄の拒否取消に關すること、業者の指定、指定の認可、拒取消に關すること、登錄、指定指定の認可を受けた業務の停止に關すること、石油製品讓渡の拒否、建築、輸送證明、遊休過剩物資、纖維機械設備許可に關すること、以上を種目別に述べると指定生產資材、指定配給物資、指定農林物資、石油製品、電力、主要食糧關係である。申立期間は（規則で）それ〳〵の定があり處分の通知を受けた日、又は處分のあつたことを知つた日から）二十日以內で申立書の樣式、裁決の結果、審査の公表その他、詳細は縣廳文書課の經濟安定委會、又は、秘書課へ。

虫しぐれ　前田紫風

動員の夜一人できいた虫しぐれ
銃を枕にまどろんだ夜の虫しぐれ
白衣のまゝ故國に歸つた日の虫しぐれ
亡父の埋葬を終つた夜の虫しぐれ
あゝ友の情に泣いて更生を誓つた
あの夜の虫しぐれ
さまざまの想い出の夢をはらんで
身にしみ入る虫しぐれに包まれて
今宵また……

ふるつて御參加を
農協組中堅職員の講習會實施

和歌山縣農地部農業協同組合課では農業協同組合の中堅職員を養成するため、この度和歌山市美園町五丁目五〇番地の二、元縣農業會清算事務所に於て、十二月一日から四ケ月間講習を行うことになつた、入所資格は、農業協同組合又は同連合會に於ける現職者又は、新制高等學校、舊制中等學校卒業及びこれと同等以上の學力を有し、將來農業協同組合又は、同連合會に勤務しようとする者で、學科三ケ月、實地見習一ケ月の講習を行う、養成人員は三十名、申込期限は十一月十五日限りである。

尙、授業料は徵收しない。

紀州文學樹立への希求
―故郷への回歸―

宮井淳光

ベルリンの某美術商を訪れたハーバー博士夫人は春信や歌麿の繪を手にして讃美した。

處が……日本のその頃「歌舞伎や人形淨瑠璃よりも築地小劇場の飜譯劇の方が―」と言つた哀れさである。そして敗戰の今日に於ては一層この傾向を見るのは當然であろう。

だが、日本が日本そのものを離れて何の世界文化への寄與ができると言うのか。

轉じて私は日本主義者の實体を言おう。彼は世界の科學的文明に反逆して徒らに自分の主觀の殼にしか生きていない。偏狹な獨斷と滿悅しか持つていない。之は悲劇である。

アメリカの文化は生活と結び付いているところに價値が在る。吾人はどうしても日本の傳統の本質を今こそ世界の前に生活と結び付いた强大さで以て表現しなければならない。

されば其の爲にも吾々は鄕土を顧りみなくてはならないのではないか。鄕土を捨てゝ何處に眞の青山があると言うのか。「人生至るところ青山あり」は「故鄕」こそ唯一の青山と言うべき暗示であると信じたい。

處が、現在和歌山の二大新聞？　である和歌山新聞は村上元三の「春風數え唄」を連載し日々新者は大和町六の「君あれば」を載せている。こゝには何の鄕土的强さとしての、つまりは文化としての片鱗すら見られはしない。「木の國」「觀光紀州（月刊紀州）」はどうやらこうやら鄕土に根をおろそうとしているが、みんな在るがまゝの傳統と因習にしか根ざしていない。創造の息ぶきなんぞ感じられぬ。單に傳統に戻り故鄕に歸るだけでは故鄕を冒瀆するだけであり之は喜劇だ。

私が紀州文學の樹立を要求するところの本旨はレヴツトが「ヨーロツパのニヒリズム」で言つている―「おのれの心に問い乍ら『四方八方眺めわたせる』パノラマ式の眼差―を堅持して最も紀州的なもの、そして日本的なものを眞正面からとらえて文化を創造することの謂いなのである。（24・10・12）

味覺の秋（三）
松茸
岡田康雄

と言傳えられて居るが、其の精につかれるのではなかろうか。

いざ食べるとなると、香松茸、味しめじといつてしめじの食味を禮讚する者もあるが、私には松茸の風味に格別の好意がもてる。汁に入れゝば汁、飯に入れゝば飯、總てのものが上品の香に抱擁された松茸料理になつてしまう。

御冷泉天皇の御代に出た新猿樂書によると、當時食通で知られた七名の旗達に好む所何物ぞという問に、善食として面穢松茸があげられ、また玉造物語の中の小野小町は「百思自ら足り、衣裳奢りて飲食充滿てり」という豪華な生活をして居たが、その珍味美香の中に松茸を入れて居るのを見てもその美味さがうかゞい知れる。

本草家の貝原益軒も「松茸は茸の上品なり」として居るが、何時の時代でも茸の代表的なものであるためか、その名を擬したものが尠くない。シヤンピニオンはフランス松茸、台灣には台灣松茸北海道にはエゾ松茸、千島には千島松茸等があるが何れも本物ではない。私は前年北千島の占守島や幌莚島で二夏を過したが、此處では「はひまつ」と「みやまはんのき」の混生した中に七、八月の候になると實に澤山の茸が出る。千島松茸といつて居るが、色が薄く、千島松茸といつて居るが、色が薄く、柄が細く松茸の香も無いが美味しく食べられる。珍しいのと茸の中にはエルゴステリンというビタミンDの母体が澤山含まれて居るので珍重したものである。この成分は椎茸の中に特に多く含まれて居るとのことであるからシイ(C)茸でなくデー(D)茸と改めた方が本當でなからうか（閑話休題）

同種の松茸でも氣候土質や寄主となる赤松の樹齡等により一樣でなく朝鮮松茸の如く柄が長かつたり、九州產の如く色澤が濃厚であつたりして何れも香りが少い。同じ地方で出來たものでも傾斜面の方向や出た位置の高低に依つて品質が違つてくる。最近は人工培養も出來るようになり、改良上の急所もつきりして來て居るが斯うした点の改良までには及んで居ない。

本邦では近畿地方の產が最上で、山城の北山產が第一とされて居るが、本縣產も仲々上等である。時期からいうと、五月末から六月にかけての早松茸と、秋は伊都郡の九月から東西牟婁郡の十二月まで氣候分布の巾も廣いが生產期間が長いのが特徵である。味も上等である。產地としては伊都郡が第一で海草、西牟婁郡之に次ぎ、其の他の地方でもこれを產せぬところはない。松茸の出る山林は約八千町歩で、今年は豐年型の氣候だから四〇萬貫を突破するのではなかろうか。全國的には兵庫、岡山、京都、廣島に次ぐ名產地である。

松茸にはなか〳〵食べ旬があつて若いのは香が高く、老いたのは肉質が良いともいわれるが、何といつても若いのに限る。身が二寸以內で傘の開かぬのを「つぼみ」、開かぬのを「つぼみ」、大きくなつて傘の開かぬのを「はんつぼみ」「ひらき等」というが、私は若いのほど好きである。老いて傘の開きつたのになると肉が硬く、香か薄くなり、殊に採り遲れたものは「きのこむし」「まつたけばい」「なめくじ」等の害虫にやられ、割つて見ても虫孔だらけになり苦味さえ生じて食うに堪えなくなる。

長らく店頭に曝し、打水をしたりして置くのがあるが、斯るものは柄の皮層に含まれて居る香成分は乾燥のため消失し、肉は硬化し厭みるべくもない。

松茸の料理ようは甚だ多いが、私は新鮮味を失わぬあつさりした作りが好きである。

熱いお吸物の蓋をとる時新鮮な香りが柚の香と混然としてプンと來る上品さ、他の茸で味えぬ肉の歯觸りと自然の甘味には言い難い美味さがある。

燒松茸は紙に包んで灰の中で燻燒にしたのもよいが、砂を拂い石附を去り縱に割いたのもよい。燒きで燒いたのもよい。

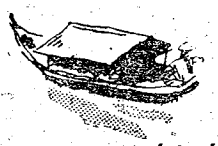
煮で松茸御飯もよい。紀州は「はも」がよい爲か土瓶蒸の美味いのも食べられる。バタ炒、フライ天ぷら、田樂もよい。すき燒の材料にすればいく白菜、甘藍等の野菜を短冊に切りアチャラ漬風にしたのもよい。飯の菜にも茶の香にも向くが、紀州のなれ鮨の日の經たものとよい等合せである。

近頃水煮缶詰、冷凍、冷藏等にして貯藏することが發達し、大量に處理されるようになり、一方香りの科學的研究も進み、マツタケオール、桂皮酸、メチール、メソ、マツタケオール等の有機酸が柄の皮の下に含まれて居り、之が芳香を發することが分り、此の成分を摘出して適當に配合し商品「松茸の香」として賣出して居るので何時でも新鮮な松茸が食べられるようになつて居るが、お吸物、燒松茸、薄塩漬はその季節の旬でなければ本當の味は味われない。

豆腐と松茸のあつさり煮で松茸御飯もよい。紀州は「はも」がよい爲か土瓶蒸の美味いのも食べられる。バタ炒、フライ天ぷら、田樂もよい。すき燒の材料にすればいく

◇　◇

新作長唄　純情一代男
紀國屋文左衞門
岩崎辰次郎



頃日、秋の夜長の徒然なるまゝ、ふと思い立つて紀國屋文左衞門の文獻など集めているうちに、ついこんなものが出來上つた。作曲はすでに杵屋宇三良氏（元和歌山市長渡邊行雄氏）に依囑して出來上つている。

紀の國に、昔男の名に高く、今の世までも謳わるる、文左衞門の面影を、茲にうつして唄う一節。

薫る橘、有田の里に、出でゝ渦卷く黑潮や、那智の清瀧三熊野に、氣宇濶達の性に生く、人にも强く戀にまた、强き情の文平が、燃ゆる大望のためならば、飽かぬお美輪としばしの別れ、花のお江戸は深川の、木場に男を磨いて八年、木やり音頭も朝夕に、千山亭に聽く果報。

これも誰故、みなお美輪ゆえ、故鄕へ歸る錦の衣も、今は果なき身冥途の土產、戀なき身には寶も財も、賭けて惜しまぬ命と共に、吼ゆる嵐に荒れ狂う、霜月はじめ波の上、木の葉と搖れる蜜柑船、白帆は沖の闇の中。

沖の暗いのに白帆が見える、あれは紀の國みかん船。

雪の廓に黃金の吹雪、大門打たす大盡冥利、人の羨む豪興も、几帳をよそにしよんぼりと、一人淋しい置炬燵、夢にも通う弟を、秘めて淋しい胸のうち、實にや浮世に强けれど、人の情けのこまやかさ、花も實もある文左衞門。

松茸の香りの科學的研究

不時に用ゆるを記し、大和本草には乾松茸を產後の婦人が煎藥として用れば回復に特効あることを述べて居る。

産地の赤松山林に天然自然に發生し、吾人の味覺を滿し且つは藥効までも備わるとはあなめでたき松茸なるかな。

（筆者農務課技師）